株主の皆様への利益還元について

株主還元につきまして、今後の事業成長に必要な研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の必要な内部留保資金を確保しつつ、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的、戦略的な自己株式取得を想定しております。当期の1株あたり配当金は、50円とさせていただきました。また、次期については、2円増配の1株あたり52円を予定しております。



株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

同事務取扱場所 日本証券代行株式会社 本店

官時株主総会 3月中

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社

特別口座管理機関 日本証券代行株式会社

公告方法電子公告により行います。

電子公古により行います。 ただし電子公告によることができない事故その他 やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。 なお、電子公告は弊社ホームページに記載しており、

そのアドレスは以下の通りです。 https://www.optorun.co.jp/

ホームページのご案内





株式会社オプトラン

[本社]

埼玉県鶴ヶ島市富士見6-1-1 TEL: 049-299-8199 FAX: 049-299-8329







第25期 株主通信 2023年 1月 1日から 2023年12月31日まで

株式会社オプトラン

証券コード:6235

社長メッセージ Interview with the President



半導体光学融合で未来を拓く

代表取締役社長執行役員

範續

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御 礼申し上げます。

ここに第25期株主通信をお届けいたします。

当社は2024年8月25日に創立25周年を迎えます。1999年の創立以来、当社が光学薄膜業界の発展に貢献し、2017年の東京証券取引所第一部(現:プライム市場)への株式上場をはじめ、ここまでの成長を実現できましたのも、ひとえに株主の皆さまのご支援のおかげでございます。心から深く感謝申し上げます。

当社は技術開発で世界市場をリードするとともに、新たな市場開拓を積極的に行い、中長期的な利益と持続的な企業価値の向上に努めてまいります。引き続き、株主の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月期業績について

当期(2023年1月1日~2023年12月31日)における世界経済は、緩やかな回復が見られる一方、世界的なインフレに伴う金融引き締め長期化や地政学リスクの高まり等、先行きは不透明な状況が続いておりました。

スマートフォン市場は需要の成熟化により代替サイクルが長期化しましたが、2023年第4四半期頃から、AIスマートフォンの登場・販売好調により、顧客からの新型装置の引き合いが高まっております。半導体光学融合領域におけるAR/VR向けエッチング装置や、電子デバイス領域におけるグリーンエネルギー分野向け装置などの新型装置受注を獲得し、同領域における市場の拡大が期待できます。

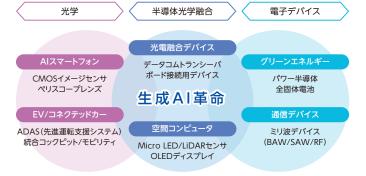
このような状況の下、受注高は、AIスマートフォンの登場があったもの

の、全体的なスマートフォン関連投資の減退により、前年比44%減の240億円と減速いたしました。売上高は、ALD(Atomic Layer Deposition:原子層堆積法)装置の貢献により、同7%増の368億円、営業利益は同30%増の97億円と拡大いたしました。経常利益は為替関連差損40億円の影響で同30%減の60億円となりました。

2024年12月期業績見通しについて

生成AI革命により、光学、半導体光学融合、電子デバイスの全事業を通じて、成膜需要拡大が期待されます。光学領域では、スマートフォン上位機種の生成AI機能搭載、カメラの複眼化・大判化による高機能化は続くと見込んでおります。半導体光学融合領域では、当社創業期からの技術である光通信機器への成膜技術を応用した光電融合デバイスへの成膜、スマートグラスやヘッドマウントディスプレイの空間コンピュータへのセンサ・カメラ・ディスプレイへの成膜需要及び市場拡大を見込んでおります。電子デバイス領域では、パワー半導体や全固体電池等のグリーンエネルギー関連分野やBAW/SAW/RFフィルタの通信デバイス関連の成膜需要及び市場規模拡大を見込んでおります。

事業領域

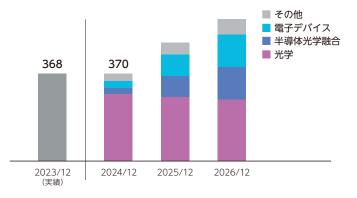


これらの状況を踏まえ、売上高は、電子デバイス事業の貢献により、前年比1%増の370億、営業利益は、円高や価格競争激化を踏まえ、同23%減の76億円に減少するものの、経常利益は、同25%増の76億円と増益を予想しております。

中期経営目標について

光学から半導体光学融合・電子デバイスへと光学薄膜市場は事業領域が拡大していることから、当社製品群の構成を見直し、より市場・顧客ニーズを的確にとらえた事業運営を行うため、光学・半導体光学融合・電子デバイスの3つの領域をコア事業と位置づけます。今後、より市場規模拡大が見込める半導体光学融合及び電子デバイスを、光学に次ぐ事

■ 領域別売上高中期経営目標(単位:億円)



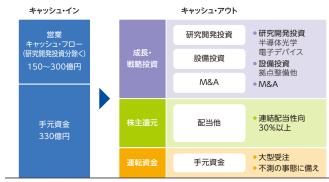
業成長の柱にする方針です。

経営目標として、営業利益率20%超、ROE(自己資本利益率)10%超と定め、さらなる収益拡大・高効率経営を目指します。キャッシュ・アロケーションは、将来の企業価値の創出に向けた成長・戦略投資に優先的に配分し、必要な運転資金を確保したうえで、継続的・安定的に株主還元を実施いたします。

環境・社会においては、昨年TCFDへの賛同を表明し、CO²排出に関する情報開示を開始しております。環境負荷を低減する製品開発や地域 貢献活動に積極的に取り組み、環境社会に配慮した企業を目指します。

これらの取り組みを通じ、さらなる成長機会の獲得や顧客価値を創造 し、市場競争を勝ち抜く経営基盤の拡充を目指します。

■ キャッシュ・アロケーション



opic リスク分散体制構築



・ 中国 上海 上海 光馳半導体技術(上海)有限公司

2024年1月稼働開始

ALD装置等の新技術装置の生産・研究開発拠点



ベトナム バクニン

Optorun Vina Company Limited 2023年12月稼働開始

装置設計・東南アジアの顧客への装置据付・保守修理、部品加工販売

連結財務ハイライト Financial Highlights

要約連結財務諸表 Financial Statements



■ 貸借対照表	(百万円)		
	2022/12	2023/12	
資産の部			
流動資産	65,401	57,631	
固定資産	17,514	20,858	
有形固定資産	8,835	11,406	
無形固定資産	540	423	
投資その他の資産	8,138	9,028	
資産合計	82,916	78,490	
負債の部			
流動負債	28,400	19,096	
固定負債	2,357	2,478	
負債合計	30,757	21,574	
純資産の部			
株主資本	48,952	51,134	
資本金	400	400	
資本剰余金	9,646	9,348	
利益剰余金	38,964	41,421	
自己株式	△ 57	△ 35	
その他の包括利益累計額	3,187	5,181	
非支配株主持分	17	600	
純資産合計	52,158	56,915	
負債純資産合計	82,916	78,490	

損益計算書		(百万円)
· <i></i>	2022/12	2023/12
売上高	34,304	36,807
売上原価	19,356	18,353
売上総利益	14,947	18,453
販売費及び一般管理費	7,498	8,702
営業利益	7,448	9,751
営業外収益	1,339	386
営業外費用	25	4,086
経常利益	8,762	6,051
特別利益	688	_
特別損失	46	53
税金等調整前当期純利益	9,404	5,997
法人税、住民税及び事業税	2,069	1,231
法人税等調整額	442	93
当期純利益	6,892	4,672
非支配株主に帰属する当期純利益	3	41
親会社株主に帰属する当期純利益	6,889	4,631

■ キャッシュ・フロー計算書		(日万円)
	22/12 2	023/12
営業活動によるキャッシュ・フロー 8	3,560	3,180
投資活動によるキャッシュ・フロー 🛆 🗸	1,395 △	3,599
財務活動によるキャッシュ・フロー △ 2	2,172	2,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	656	679
現金及び現金同等物の増減額(△は減少) 2	2,649	1,946
現金及び現金同等物の期首残高 32	2,273	34,922
現金及び現金同等物の期末残高 34	1,922	32,976

3 --

(百万円)

会社情報 Corporate Information

(2023年12月31日現在)

■ 株式の状況

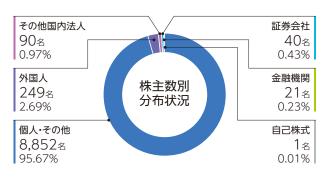
発行可能株式総数	177,432,000株
発行済株式総数	44,358,000株
株主数	9,253名

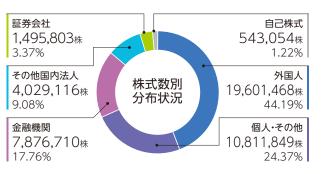
■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
浙江水晶光電科技股份有限公司	6,507	14.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,763	10.87
孫 大雄	2,531	5.78
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,474	5.65
JSR株式会社	2,310	5.27
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	1,368	3.12
株式会社アルバック	1,038	2.37
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	965	2.20
林 為平	795	1.82
JPモルガン証券株式会社	668	1.52

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株式分布状況





■ 株価・出来高の推移(月足)



■ 会社概要

名 株式会社 オプトラン 会 (OPTORUN Co..Ltd.) 住 [本社]

埼玉県鶴ヶ島市富士見6-1-1 [技術開発センター] 埼玉県川越市竹野10-1

立 1999年8月25日

金 400百万円

容 光学薄膜装置等の製造販売

■ マネジメント体制(2024年3月22日現在)

取締役 取締役会長 林 為平 代表取締役 範 賓 取締役 近藤 宏治 社外取締役 林 敏 社外取締役 山崎 直子 社外取締役 瀧口 王 社外取締役

島岡未来子

諸役 孫 大雄 名誉会長 上級顧問 高橋 俊典 顧問 小田木秀幸

監査役

監査役 小林 信一 社外監査役 佐々田博信 社外監査役 片山 律

(2023年12月31日現在)

執行役員 社長執行役員 常務執行役員 建政 常務執行役員 久保 昌司 執行役員 近藤 宏治

■ 主なグループ会社

子会社

Afly solution Oy

子会社

光馳半導体技術(上海)有限公司

子会社

光馳(上海)商貿有限公司

子会社

光馳科技(上海)有限公司

Optorun USA, INC.

子会社

持分法適用会社

浙江晶馳光電科技有限公司

子会社

子会社

光馳科技股份有限公司(台湾)

ナノリソティックス株式会社

子会社

Optorun Vina Company Limited